

令和6年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査について

調査対象：5年生

調査事項

ア 実技に関する調査

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、
立ち幅とび、ソフトボール投げ

イ 質問紙調査（運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査）

1 結果と分析

- 男子は、特に50m走や握力などのすばやく移動する能力や大きな力を出す能力が優れている。
- 女子は、上体起こしやソフトボール投げなどの運動を調整する能力や大きな力を出す能力が平均を上回っている。
- 男女とも、立ち幅跳び、反復横跳びなどすばやく動き出す能力である瞬発力と長座体前屈など柔軟性に課題がある。

2 取組についての評価

(1) 体育科の学習指導

①効果があつた取組

- ・全校ドッジボール大会の開催や運動会における全学年競技「しっぽとり」を取り入れたことによる運動への意欲の向上

② 改善を図る点

- ・体の柔らかさを向上できるようにするために、体育の時間で行う準備運動や毎週金曜日の朝タイム(いっこタイム)の在り方を工夫する。
- ・補助教材の活用による体力テストに向けた活動を実施する。
- ・全職員による体力テストの実施内容の確認と共有を行う。

(2) 今後の体力向上に対する取組

- ・体力テストの取り組み期間中に児童がそれぞれタブレット等で競技のポイントを確認できるような取り組みを実施する。
- ・体力テストの種目を日常的に体験できるよう、校内に簡易トレーニング場を設置する。